

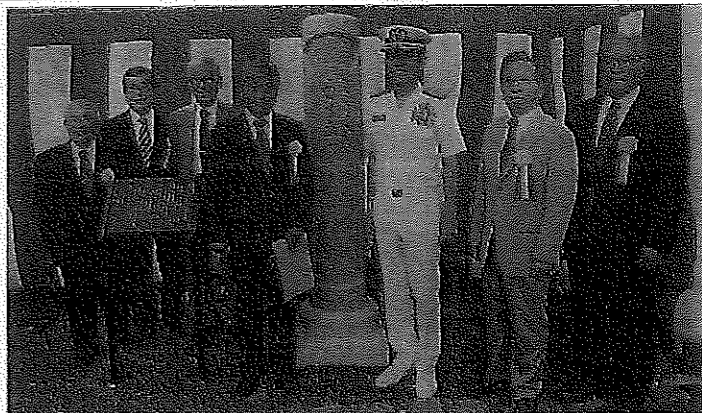
鎮守府開庁120年記念

舞鶴市余部下の「東郷邸」(現在の海上自衛隊舞鶴地方総監部会議所)で26日、東郷平八郎ゆかりのイチョウと月桂樹の苗木の植樹式があった。東郷が初代司令官を務めた旧海軍の舞鶴鎮守府開庁120年を記念し、市が海自に寄付した。【塩田敏夫】

元帥ゆかり イチョウ植樹

舞鶴海自「東郷邸」

市が苗木寄付
明治初期、日本政府は軍艦「比叡」の建造を英国に依頼。比叡が完成した際にイチョウの苗木を英国に寄贈し、東郷が滞在していた英海軍士官の宿舎に植えられたことから「東郷元帥のイチョウ」として語り継がれてきた。現在も大切に育てられており、日英友好のシンボルとして、地元では苗木を日本に里



「東郷平八郎元帥揮毫の碑」の前に立つ「有志の会」のメンバー。左から4人目は東郷のひ孫の東郷宏重さん。いずれも舞鶴市余部下の「東郷邸」で

よりよき技術
すばらしい製品
印章・ゴム印
ハガキ・名刺・表紙
森田印房
京・東洞院新築所南
TEL (221) 4578(代)
FAX (221) 8149

方総監(海将)が植樹について「(海自舞鶴地方隊の)4000人の大きな喜びだ」とおっしゃる。東郷平八郎ゆかりのイチョウの苗木を植樹する伊藤弘毅(左から2人目)と藤田敏夫(左から3人目)。

開庁120年記念行事協賛有志の会(代表、小西剛舞鶴商工会議所会頭)も「東郷平八郎元帥揮毫の碑」を海自に寄付し、東郷邸に設置された。高き10メートル、日本海海戦で発した指令文「皇國ノ興廢此ノ一戦」の文字が刻まれている。舞鶴市内の殺物商、浜田伊之助さん(故人)が自宅庭に建立したが、その後は不動産業の志摩和彦さんが所有していた。

鎮守府と海図 歴史たどる



特別企画展「鎮守府がやってきた!海の地図と伊藤備吉と海軍と」が2~31日、舞鶴市北吸の舞鶴赤れんがパーク3号棟

舞鶴・きょうから
特別展に27点

で開かれる一写真。日本で近代的な海図作りが始まって2021年で150年、旧海軍舞鶴鎮守府が開庁して120年となるのを記念し、第8管区海上保安本部(舞鶴市)と市が主催する。午前9時~午後5時(2日のみ、午前10時から)のテープカット後に開館。無料。

#で広めて 旧海軍鎮守府120年

舞鶴市北吸の舞鶴赤れんがパークに#(ハッシュタグ) MAIZURUの記念イベントが登場した。写真。10月1日旧海軍舞鶴鎮守府が開庁120年を迎えることを記念し、市が設置した。訪れた人がSNSで共有しやすいよう「#」を付けたデザインにしたという。



みな親切で仲良く/盆踊り楽しみ

舞鶴市東吉原にある国登録有形文化財の銭湯「日の出湯」で16日、吉原地区出身の宮本志保(95)さんが「わたしの吉原」と題して講演した。日の出湯に毎日、手押し車で通う宮本さんは大正生まれの人生を振り返り、「吉原は漁師の町。親切な人ばかりで、隣近所は兄弟のように仲が良かった。おかまをこしらえると隣近所で分け合ったと懐かしんだ。」

【塩田敏夫】

舞鶴 95歳 宮本さんが講演

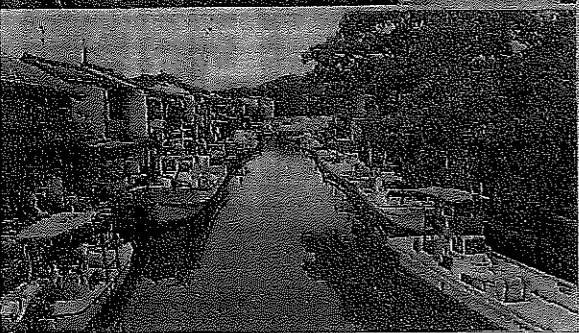
原地区には、カマボコや竹輪の製造業者が28軒もあったという。同市神崎地区で、大敷網を手掛けたこともあった。3人の娘を育て、現在は吉原地区に隣接する同市魚屋で一人暮らし。移動販売車で買い物をして、新鮮な魚は自分で刺し身にして食べるのが楽しみという。「魚は小さい時からさばけた。刺し身にした後のあらは、つゆにして食べます」と話した。

大正生まれ 愛する吉原を懐古

吉原地区の歴史を振り返ると、住民有志で結成した「やわち(吉原の言葉)」で「兄弟分」の意味)クラブが主催。講演はクラブの代表で日の出湯を経営する高橋一郎さん(72)らが、宮本さんから聞き取る形で行われた。吉原地区は西舞鶴のシンボル。田辺城の北に位置し、伊佐津川河口にある。明治42(1909)年の大火や台風災害を乗り越え、漁師町として生き残った。今も戦前の面影が残る町並みが続き、毎年8月には勇壮な火祭り「万灯籠」が開催される。2020年4月現在、359世帯計637人が暮らす。



「吉原の思い出を高橋一郎さん(左)に語る宮本志保さん(右)漁師町・吉原は「東洋のベニス」と表現されることもある。いずれも舞鶴市東吉原で



第36回舞鶴ユネスコ賞

白糸中3年 勝部さんに

「愛鳥週間ポスターコン」文科大臣賞で



勝部琴葉さん

舞鶴ユネスコ協会は、第36回舞鶴ユネスコ賞に舞鶴市立白糸中3年、勝部琴葉さんを選んだと発表した。ユネスコ(国連教育科学文化機関)が目指す教育・文化・体育の振興で優れた団体・個人の功績をたたえるもので、16日に予定していた表彰式は新型コロナウイルス感染拡大のため中止した。

勝部さんは令和3(2021)年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール(日本鳥類保護連盟主催)で、応募2万点余りの中から文部科学大臣賞に輝いた。コウノトリの親子が高い巣塔に立ち、背景には人間による開発で初の快挙であること高く評価。作品のレプリカは白糸中の玄関に展示され、芸術・文化の振興に優れた功績を挙げたとされている。

舞鶴ユネスコ協会は、府に記録が残る1987年以降で、文部科学大臣賞受賞は府内

町の顔 奇麗に

JR 駅東口の花壇 公社解散で荒れ果て

舞鶴市の西舞鶴高生たちが、近くのJR西舞鶴駅東口の花壇の再生に向け、始動した。今春まで管理していた公益財団法人舞鶴市花と緑の公社が解散し、手入れができずに草が生え放題の状態だった。通学で通りかかると生徒たちが見かねて、17日から草刈りを始めた。今後は市や地域の人の協力を得て、「自分たちの町の玄関口」を奇麗にしたいという。【塩田敏夫】

西舞鶴高生が再生へ

最初に声を上げたのは、の花壇。それなのに誰も2年生の小島萌衣里さん 手入れしなくなった(16)。通りかかると、荒れ果てた花壇の光景に心を痛めてきた。「町の顔」として訪れる人を驚



●花壇の整備を始めた西舞鶴高生たち●花壇再生への思いを語る小島萌衣里さん(16) 7/23



め、廃れてしまった。「市民から苦情も出ているよ」と、このままではいかぬか」と自問した。

ボランティア部に所属する小島さんは、生徒指導の川端茂大教諭(35)に相談した。川端教諭は「小島さんの気持ちの気高さに心を打たれました」と語り、学校全体の問題として取り組もうと決意したという。プロジェクト

17日の草刈り作業は猛暑の中で行われた。小島さんは「一人では心細い。有志が集まってくれて本当に良かったです。これからできることをみんなと話し合っていきたいです」と語った。

市は西舞鶴高の申し出について「本当にありがたい。市民の方の力でいい形に持っていきたい」としている。

市によると、舞鶴市花と緑の公社は46人体制で2001年に発足した。アジサイやツバキで知られる舞鶴自然文化園をはじめ、JR 駅東口の花壇など、市内のさまざまな緑地・花壇の整備をしてきた。経費削減などを理由に21年3月末で解散し、市が直轄することになった。市は「公社が解散し、市直営の管理となったが、なかなか手が回っていないのが事実。この1年、どういふ動きができるのかしっかりと検証したい」と話している。

請負会社 9社が退去

JMU 舞鶴・造船撤退 事業所従業員半減

造船部門から撤退したジャパンマリンユナイテッド(JMU、本社・横浜市) 舞鶴事業所に関し、構内にあった請負会社14社のうち9社が退去し、このうち塗装会社1社は舞鶴市から事業所を撤退させた。18日、舞鶴市役所で開催した対策連絡会議(市や府などで組織)後、市が明らかにした。請負会社は造船撤退で経営的に大きなダメージを受けているが、隣接する福井県高浜町の関西電力高浜原子力発電所関連などの代替業務で「一定はカバーされている」としている。会議は冒頭を除き、非公開で行われた。【塩田敏夫】

市、新事業展開要望へ

会議後、記者会見し、くむ舞鶴事業所は5月26日、最終船の引き渡しを終え、造船部門は

6月末で閉じた。舞鶴事業所には2020年4月時点で、造船部門288人、修繕部門138人、共通部門34人の計460人の従業員がいた。21年7月では全体で218人、造船部門は9人にそれぞれ減少した。今後、事業所を特化する海上自衛隊の艦船などの修繕部門は増員し、現在170人。

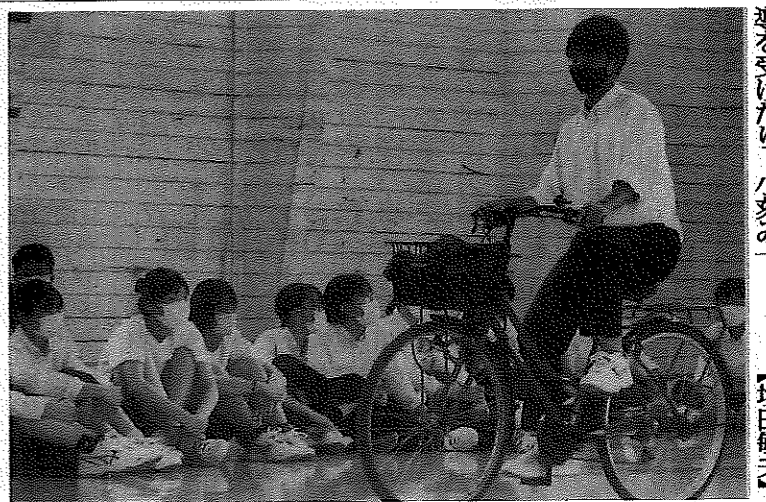
舞鶴事業所は日本海側唯一の大型造船所だった。舞鶴事業所構内の請負会社は塗装、溶接、機装を担ってきた。市の聞き取りによると、舞鶴事業所はこれまで年間5隻程度の新船を建造、90億円を売り上げてきた。これが純減することになる。造船事業は請負、その下請け、孫請けなど関連産業のすそ野は非常に広く、地域経済に与える影響は大きい。下請けを含む造船事業全体の雇用数はつかめていないという。

市が4月26日と5月14日に請負14社に実施したヒアリングによると、今後の舞鶴事業所の艦船修繕業務請負について、9社が「請負あり」、5社が「請負なし」と回答した。また、14社のJMU舞鶴事業所構内の従業員数は20年8月の101人から61人減少すると回答した。

一方、造船跡地の活用方法はまだ決まっていない。舞鶴事業所は海上保安庁の船や民間の商船の修繕事業にも積極的に取り組むという。市は関係機関と連携して退職者の再就職支援や請負会社の支援を続けるとともに「洋上発電所など新たな事業展開」をJMU本社に要望する方針。

西舞鶴高生25人 自転車実技訓練

舞鶴市の西舞鶴高で13日、自転車の実技訓練があった。写真。自転車通学の1年生を中心に25人が参加。府安心・安全まちづくり推進課から自転車に乗る時の基本的なルール、事故責任について講義を受けた後、実技に取り組んだ。舞鶴署員から自転車のブレーキやハンドル操作の点検指導を受けた。小刻みにカーブを曲がったりする練習もした。【塩田敏夫】

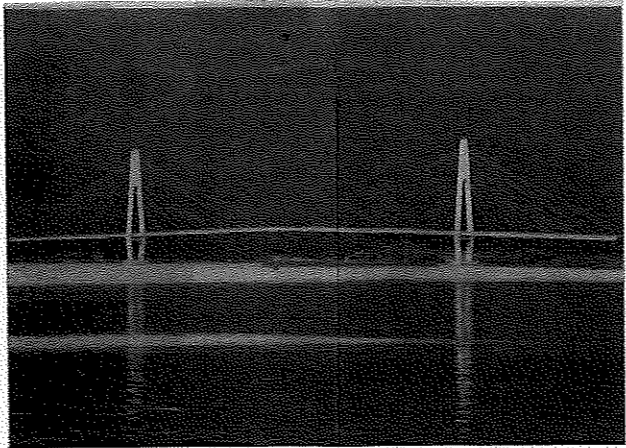


復旧完了 きょう開通

舞鶴クレインブリッジ

橋桁の重さを支える鶴市の舞鶴クレインブリッジの部材(ステリス合金のローラ)が損傷し、全面通行止めになっていた舞鶴クレインブリッジが29日正午、1年1カ月ぶりに開通する。復旧工事が完成したとして、市が発表した。

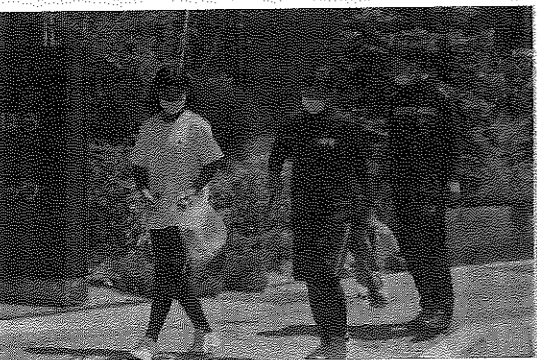
舞鶴クレインブリッジは同市平と佐波賀地区を結ぶ斜張橋。関西電力が石炭火力発電所建設の工事用道路として1999年に架設。同年に市に移管された。2020年9月29日に全面通行止めにして、日立造船が復旧工事を担当した。工事費は7851万4700円。



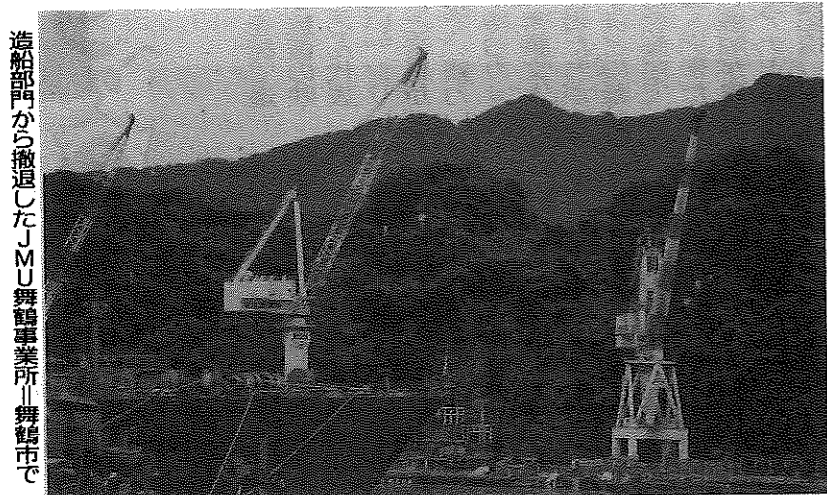
29日正午に通行止めが解除される舞鶴クレインブリッジ＝舞鶴市で

歩道のごみ 100人で清掃

西舞鶴高生 クリーン大作戦



西舞鶴高生約100人が5月31日、舞鶴市008年から「市街地引上の学校周辺で清掃クリーン大作戦」と名



造船部門から撤退したJMU舞鶴事業所＝舞鶴市で

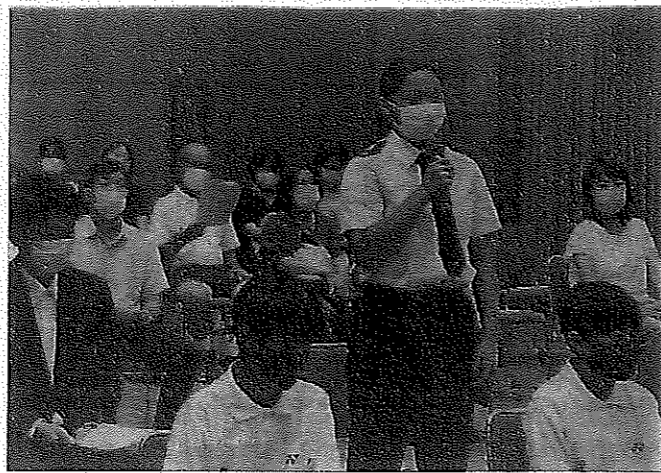


郷土に愛の花開け

舞鶴市のボランティア団体「ウエルカムフラワー」は22日、同市余部下の共楽公園でシバザクラを植えた。写真は川井實治会長(73)の話では、舞鶴の町を花でいっぱいにして、6年前から始めた取り組み。近くの五老ヶ岳公園でもシバザクラを植えている。この日は秋晴れの下、海上

舞鶴 共楽公園で植樹

自衛隊員で南極観測船「しらせ」の乗組員、小西優樹さん(21)ら16人が参加。川井会長は「これまでは地元の幼稚園児たちに植えてもらってきましたが、コロナ禍で今年は無理でした。また、子どもたちに植えてもらい、郷土を愛するようになってほしいと願っています」と話した。

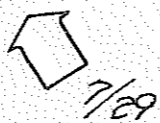


決意を述べる高校生ら—舞鶴市北吸の市政記念館で

スポーツで全国へ
小・高生21人激励

この夏、スポーツの全国大会に出場する舞鶴市の小学生と高校生計21人の激励会が28日、同市北吸の市政記念館であった。全国高校総合体育大会のウエートリフティング競技に出場する海

洋高3年、富田結璃さんらで、一人一人が全力を尽くします」などと決意表明した。奥水孝志教育長は「支えてくれた人たちへの感謝の気持ちを忘れずに頑張ってください」と激励した。



年)7月28日(水) ①② 京都 22

京都

丹波・丹後

園児が七夕飾り

海自第4術科学校に



舞鶴市の三鶴幼稚園の園児14人は5日、市内の海上自衛隊第4術科学校を訪れ、七夕飾りをプレゼントした。写真は園児たちが「勇気と安全をありがとう」と大きな声で感謝の言葉を述べた。稲田文司校長(海将補)は「先月に初孫が生まれたばかりです。あと何年かするとみなさんのようになると思うと、感慨深いです。みなさんの頑張って、という気持ちが励みになります。みなさんの安全のために頑張ります」とお礼の言葉を述べた。【塩田敏夫】

舞鶴の海 守る人たちへ

海保学校70周年 協力者に感謝状 23団体と6人 海上保安学校(舞鶴市)は2日、開校70周年を記念し、学生の教育訓練などで協力してきた府立海洋高など23団体と個人6人に感謝状を贈った。写真は贈呈式では、江口圭三校長が学校の歴史を



振り返り、「今日までに1万9900人がこの舞鶴から巣立った。全国の海上保安庁職員1万4000人のうち7割を占めるほどになった。開校から70年、このような教育を維持できたのも、ひとえに地域の皆様のご指導とご支援があったからこそ」と式辞で語った。学生を代表し、管課程第3期の中道晶乃さん(21)が「舞鶴市民の皆様をはじめ国民の皆様への期待に応え、社会に貢献する海上保安官となることを改めてここに誓います」と感謝の言葉を述べた。

母子保健奨励賞

舞鶴の新宮さん受賞

ステイ型ケアで産後支え

地域で母子保健の向上に励んだ人に贈られる第43回母子保健奨励賞(母子衛生研究会)



母子保健奨励賞を受けた舞鶴市の新宮美紀さん—本人提供

母子保健功労顕彰会主催、厚生労働省・毎日新聞社など後援)の受賞者が決まり、府内からは舞鶴市の「みき助産院」院長、新宮美紀さん(51)が選ばれた。府北部で唯一の分娩ができる助産院を開業・運営し、産後ケアの幅広い丁寧な活動で、地

域の子育てを支えてきた。新宮さんは府立医科大の旧看護専門学校卒業後、複数の病院勤務を経て、同助産院を

開業。以後約15年、自宅や同院での分娩など地域での出産を手助けしてきた。新宮さんを頼って集まってくる妊婦は、同市内にとどまらず、宮津、綾部、福知山各市や隣接する福井県高浜町にもいる。

開業当時から、お産と子育てについて考えるサークル活動を実施。産後うつ防止のため「ゆ〜りの休めて、子育ての相談もできる新宮さん」という同院でのステイ型ケアは、地域の母親たちに頼りにされ、希望者が多いという。

看護学校の講師、実習受け入れなど後進の育成にも熱心で、助産師会の役員活動など多忙の中、市民組織「舞鶴ラブ」を結成し、コンサートを企画する



アパホテルが27日、舞鶴市引土折原のJR西舞鶴駅前が開業した。エヌ・フィ・エフサービス(本社・京都市、塩野徳常社長)が「プラザホテル舞鶴」として20年間営業してきたが、アパホテル

府北部で初

とフランチャイズ契約を結び、新たにオープンした。国内最大の667ホテル(パートナーホテルを含む)を展開するアパグループは京都市内に直営の6ホテルを持つが、府北部では初となる。

記者会見した塩野社長は「アパホテルはフロントにアプリチェックイン専用機を導入するなどイノベーション

西舞鶴駅前にアパホテル

(技術革新)の力がすごい。ちょうど息子に経営を譲ろうとする時期に当たり、思い切って投資しアパホテルとして生き残りを図ることにした」と語った。

記者の質問にアパグループの元谷一志社長は「客室(84室)には50型大型液晶テレビを設置するなど宿泊客のニーズにきめ細かく応えた」と答えた。

塩野社長は会見後、「祖父は舞鶴の海軍の依頼で父とともに牧場を始めた。牛乳を提供するためだった。戦争が終わり、すべてなくなってしまい、私はホテルやマンション経営を手がけた。生まれ育った舞鶴で頑張っていきたい」と話した。

